

平成23(2011)年3月5日第83号

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

卒業・修了の時期を迎えて

3月は新たなステージへと飛躍する時期であり、また、この一年間の学業生活のまとめをするときでもあります。

卒園して、本校の小学部に入学する園児、中学部に進学する児童、高等部に進学する生徒たち、皆々が本校の教育課程を修了して卒業することになります。

また、帰国して進学する人たちもいます。これらの児童生徒にあっては、在米生活の長短はあっても、本校で学んだこと、体験したことを最大限に生かして学業生活を全うしてほしいと願っています。日本の学校生活は、アメリカでの学校生活とは異なっていると思いますが、今まで培った能力を発揮し、立派に成長することを期待しています。

今一度、自らを顧みる事の大切さ

今年度は、本日を入れて3回しか登校日がありません。今一度、この一年間を振り返ってください。私が各教室を訪問しながら感じたことを少し書き上げてみます。

① 補習校と現地校との両立への努力と勤勉

全体的には、学習活動に集中していますが、高学年の一部に、集中できない生徒が見られます。

現地校と補習校の学習を両立することは、何かと大変であろうが、「両立させる」努力と勤勉さがなくてはなりません。この「努力と勤勉」さが、皆さんの将来を拓く鍵になると思います。

② 宿題を成し遂げようとする努力が大切

補習校は土曜日しかない学校で、年間42回くらいしか授業日がありません。日本であれば授業日は200日あり、その日数で各教科書をすべて学習することになります。だから、補習校での学習進度は、日本の2倍から3倍のスピードで行かないと、一冊の教科書が終わらないことになります。

よって、授業では基礎基本を中心とし、学習内容の習熟や定着は、家庭学習による宿題とならざるを得ないのです。家庭は第2の学校です。

③ 「ヒューストン日本語補習校とは」(学校要覧2p

運営委員長)の中に、「日本国内の小中学校同様、学習指導要領に準じた(中略)授業を行います。」また、「帰国した場合にも日本の学校教育や生活への容易な適応を促すこと(ソフトランディング)(攻略)」

と明記してあります。

これらのことは、とても大切なことなのです。

「ソフトランディング」するときには、ヒューストン日本語補習校での学校生活において、日本の学校での行事に臨むときの諸注意事項や教室での学習のしかたを身に付けておくことが必要になります。

よって、補習校では努めて生活態度や学習態度について注意や指導を行っている次第です。アメリカにある学校だから、アメリカ流の生活指導や学習指導を行う、という訳にいかない所以なのです。ご理解をいただきたいと思います。

④ 補習校は勉強するところ

週1回、補習校での友人との語らいは楽しいものです。また、楽しくなければならぬと思っています。でも、楽しいだけの補習校であってはなりません。補習校で「勉強する」と言うことは、自分の夢や希望の実現を図るための知識や体験、教養などを積み重ねたり、練り直したり、また積み上げ、深めることなのです。そして、これらは一人ですのではなく、学級集団の中で切磋琢磨しながら、自分の個性理解や知識能力の足りないところを発見し、自己伸長を図ることが出来る場所が補習校なのです。

因みに、本校教育において目指す子ども像は「言葉を大切にし、豊かな日本語表現ができる子ども」「お互いの個性文化を尊重し、国際社会に積極的に生きる子ども」「自ら進んで学び、健やかに未来を展望する子ども」「生命人権を尊重し、思いやりのある子ども」「豊かな社会性や人間性を持ち、責任を持って行動する子ども」(めざす子ども像から抜粋)です。

⑤ 補習校教育は学校と保護者の信頼と関係が基

先生方は、子どもたちへの学習指導や生活指導には大変に留意して展開しています。先生方も保護者の家庭での教育について、一生懸命に取り組んでいらっしゃることを確信しています。ただ、時として、この両者の思いの違いもあることと思いますが、両者ともに、子どもの健やかな成長を期して指導や教育をしていることは事実なのです。

互いに尊重し、信頼しあうつながりで、子どもたちの教育に当たりたいと思っています。今年度もあと少しです。しっかりと手を取り合って、最後のまとめをしたいと思っています。

3月19日の卒業式・修了式を厳粛にして立派に挙行したいと思っています。

カネカ工場見学発表会の作文

2月19日(土)、掲題の発表会に臨んだ児童の作文を掲載します。まとめ方も発表のしかたもとても良くできていました。声もよく出ていました。

小3B 久野翔平 (亥本学級)

「これから社会科見学発表会を始めます。」といもと先生が言いました。ぼくは、心ぞうがはれつするぐらい、どきどきしました。

図書館に入ったら、思ったより寒かったです。

ぼくは、発表する時、前よりもきんちょうしました。でも、ぼくは、つかっからないで自分のたん当のところをすらすら読めたと思います。

ぼくが家に帰ったら、お母さんが「よくできた」とほめてくれました。ぼくは安心しました。

小3B 吉保優美 (亥本学級)

今日は、社会見学発表会がありました。

五時間目が終わった後、何だかとてもどきどきしてきました。六時間目になって、みんなで図書室に行きました。席に着いたら、もっとどきどきしてきました。20分くらいで自分たちのグループの番になりました。きんちょうして、早口になってしまいました。

たくさんどきどきしたけれど、また発表会をしたいです。今日は楽しかったです。

小3B 河合 怜 (亥本学級)

2月19日に、ほ習校の図書室で社会見学発表会がありました。カネカ工場の社長さんとお父さんとお母さんがたくさん来ました。



ぼくの班は、一番さい後の発表でした。太陽電池の太陽新聞を発表しました。それは、太陽電池とは何かという事と作り方とみ来について書いています。

いよいよ発表の番です。まちがえたらはずかしいと思ったので、きんちょうしました。ぼくはゆっくりと大きな声で言いました。そして、ポスターをかくさないで、みんなに見えるように気をつけました。カネカの社長さんが、おもしろいところで笑っている声が聞こえました。

終わった時、はく手してもらったので、「うまくいった。」と思いました。ぶ事終わったのでほっとしました。

ぼくの班は、きょう力してがんばりました。

お父さんとお母さんにほめられたのが一番うれしかったです。

第3回漢字検定結果

1月29日、第3回漢字検定の結果が届きました。3月12日、結果を受検者にお知らせします。少しだけ結果と願いを記します。

- ①すべての級を通した平均合格率は72.5%で、今年度最高の合格率でした。よく頑張りました。
- ②上級ほど、合格率が低下している。奮闘努力です。
- ③中学部卒業程度で、3級は合格してほしい。
- ④あともう少しで合格の人がいる。再挑戦ですね。

大判テスト 平均点100点!

(本当に素晴らしいね)

2月26日、小学部3年A組(安田学級)で実施された国語科の大判テストで、「全員100点満点」をとったことが分かりました。この単元テスト名は「言葉っておもしろいな 漢字と友だち」でした。どれだけ簡単なテストであっても、「平均点100点」は、私も経験したことがありません。ましてや、このテストは大判テストです。本当によくがんばりました。力いっぱいほめてあげます。更なる頑張りを期待します。



商工会婦人部・古本市

「保護者の皆さんにたくさんお買い上げいただき、ありがとうございました。」また、募金にもご協力をいただいたと、お礼の言葉が届きました。この収益金で児童生徒用の図書購入を行うとのことです。深く感謝致します。

◆パトロール当番予定表3月12日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	中1	26	前田真耶
		27	森田美波
	中2	2	王子源生
		3	小灘拓矢
		4	徳留正峻
		5	白 旭
		6	老田圭佑
★PM1リーダー	中2	7	川西諒一
		8	谷田咲貴
		9	生沼賢虎
		12	奥原奏太
		13	佐藤 勉
		14	岡本リオ
		15	中山知樹